

平成30年度 障害者委託訓練委託先機関募集要項

千葉県立障害者高等技術専門校

1 募集訓練コースの概要等

以下のコース・内容にて募集をする。

- ①「PC技能習得コース」は、文書作成、表計算・図表作成、プレゼンテーション資料作成等の職業横断的な情報技術又は会計・経理等に係る必要な知識・技能など就職に有用なパソコンの活用能力やITに関する知識・技能の習得内容で座学により実施するものであること。
- ②「作業実務コース」は、実技を中心とした作業訓練を通して、就職に必要な働く姿勢や知識・技能・態度を習得内容で実施するものであること。
- ③「デュアルシステムコース」は、長期間就労から離れている、就業経験が全くない等の障害のある方を対象として職業能力開発を図るため、民間職業訓練機関等における座学等の集合訓練と企業等における実習を組み合わせた訓練内容であること。
- ④「企業実践コース」は、実際の業務に即した作業実習を行い、実践的な職業能力を習得内容で実施するものであること。
- ⑤「特別支援学校早期訓練コース」(以下、早期訓練コースと記す。)は次の内容で実施するものであること。

【特別支援学校早期訓練コース座学型】

介護職員初任者研修等、特別支援学校生徒の就職へ向けて有用な資格取得を目指す内容で実施するものであること。

【特別支援学校早期訓練コース企業実践型】

実際の業務に即した作業実習を行い、実践的な職業能力を習得内容で実施するものであること。

2 受講対象者

身体障害・知的障害・精神障害・発達障害・高次脳機能障害・難病などを有する方で、次の全ての要件を満たしている者が対象となる。

- ① 公共職業安定所に求職登録をしている方
- ② 原則、公共職業安定所長による受講あっせんを受けられる方
- ③ 職業訓練を受講することにより就労が見込まれる方
- ④ 障害の症状が安定しており、訓練受講に支障のない方
- ⑤ 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の保持者。または公的機関等による判定書や診断書、及び主治医の意見書などにより、障害を有することの証明がある方
- ⑥ 精神障害者の方については、主治医の意見書を提出できる方

※訓練期間が2ヶ月以下の障害者委託訓練を受講する場合、受講あっせんにより職業訓練を受講したものが、受講修了後1年以内に就職促進のために受講する場合などについては、受講あっせんを必ずしも要しない。

※早期訓練コースについては、高等学校もしくは特別支援学校高等部3年生で10月1日の時点で就職が内定していない就職希望者であること。

3 委託料等

①各コースの委託料等

【PC技能習得コース・作業実務コース・特別支援学校早期訓練コース座学型】

原則、受講者1人当たり上限64,800円/月(税込)

【デュアルシステムコース】

原則、受講者1人当たりの上限額は下記のとおり(税込)

職業能力付与講習	集合訓練(座学型等)	職場実習
2,160円/日	64,800円/月	97,200円/月

<就職支援経費>

対象：PC技能習得コース・作業実務コース

特別支援学校早期訓練コース座学型・デュアルシステムコース

受講者が、訓練修了日又は就職のための中退の日の翌日から起算して、90日以内に雇用保険の被保険者として内定または雇用された場合に、就職支援の実施に係る経費として、就職者1人当たり21,600円(税込)を委託先機関に支給する。

※労働者派遣事業による派遣の場合は、対象期間内に派遣先に就業した場合

※障害福祉サービス(就労継続支援事業A型等)による雇用は対象外

【企業実践コース・特別支援学校早期訓練コース企業実践型】

○委託先機関が中小企業の場合

※社会福祉法人及びNPO法人においては、常用労働者数による

原則、受講者1人当たり上限97,200円/月(税込)

○委託先機関が中小企業以外の場合

原則、受講者1人当たり上限64,800円/月(税込)

②支払いについて

- ・全コースにおいて、訓練修了後、実績により支払いを行う。
- ・受講者の中途退校等により、減額される場合がある。

4 訓練カリキュラム・訓練期間・訓練時間

障害者委託訓練の目的・目標、訓練内容、訓練期間、訓練時間等が、受講者の職業能力の開発及び向上に資するものであり、就業に有効な能力の養成に必要な訓練と認められること。具体的には、次の要件を全て満たしていることが必要である。

- ① 訓練内容、訓練期間及び訓練時間が、障害者委託訓練の目的及び提案期間の訓練目標と整合性を有するものであること。
- ② 訓練時間は、原則1日5～7時間、1か月100時間を標準とすること。
PC技能習得コース、作業実務コース、デュアルシステムコース(集合訓練)、早期訓練コース座学型は最低月80時間以上、ただし、時間数の算定については、45分以上60分未満(休憩時間を除く。)を1時間として算定して差し支えないこと。また、企業実践コース、デュアルシステムコース(職場実習)、早期訓練コース企業実践型は最低月60時間以上を実施すること。

なお、作業実務・企業実践コースについては受講者の障害状況により、月当たりの訓練時間数を上記の半分として、訓練期間6か月以内で訓練実施をする場合がある。(委託費の上限は3か月分まで)

- ③ PC技能習得コースは、当該年度の5月1日～3月15日までの間に、2か月間または3か月間の訓練期間を設定するものとする。

デュアルシステムコースは、当該年度の5月1日～3月15日までの間に、集合訓練と職場実習を通算して2か月間～6か月間の訓練期間を設定するものとする。ただし、集合訓練は1か月以上5か月以内とし、職場実習は1か月以上3か月以内とする。働く意義や目的の理解、ビジネスマナー等の習得のための職業能力付与講習は、4日以内で設定することができる。

作業実務コース、企業実践コースは当該年度の4月2日～3月15日までの間に、1か月間～3か月間の訓練期間を設定するものとする。(企業実践コースは1か月の訓練期間の設定が望ましい。)

早期訓練コース企業実践型は当該年度の10月1日～3月15日までの間に、1か月以内の訓練期間を設定するものとする。(2週間の訓練期間の設定が望ましい。)

早期訓練コース座学型は当該年度の10月1日～3月15日までの間に1か月間～3か月間の訓練期間を設定するものとする。

- ④ PC技能習得コース及びデュアルシステムコースの同一コースの受講者については、原則として、同一時刻に一斉に訓練を開始するとともに一斉に訓練を終了すること。ただし、個々の受講者に対する個別指導、補講等については、この限りではない。

5 指導方法

- ①施設・設備や教材等を有効に活用した効果的な指導方法等により、各受講者の特性及び習得状況に応じた指導を行うことができる訓練カリキュラムでの提案をすること。
- ②また、受講者の職業能力開発に向けた指導ができる専門知識、能力、経験を有する講師を確保し、就職支援に対する体制ができていること。
- ③デュアルシステムコースにおいては、職場実習予定先の業種や実習内容は集合訓練との対応が図られ、職場実習先の確保がされていること。
- ④訓練カリキュラムとして介護職員初任者研修を設定する場合は、事業者及び研修の指定申請を行い、事業者・研修の指定を受けること。

6 教材等

訓練カリキュラムとの整合性があり、訓練効果が期待できる教材・消耗品を使用すること。

7 受講者の費用負担

受講料は無料とすること。ただし、受講者の所有となる教科書、実習服等やその他の必要経費等については実費負担とすることができる。

8 損害保険等の加入

PC技能習得コース及びパーソナルコンピューターを使用するデュアルシステムコースにおいては、訓練期間中のパーソナルコンピューター破損に関わる損害補償制度を訓練機関負担により措置すること。(破損に伴う費用負担を受講者に求めない場合は措置を必要としないこと。なお、この場合の破損とは受講者の故意による破損は含まないものとする)

9 各様式作成時の留意事項

①各コースの共通事項

○一提案書につき、一提案内容とすること。

例) PC技能習得コース 同一開講月で「初級」と「中級」の2提案をする場合は、提案書を別にして提案すること

○代表者印は通常、社印を使用する場合は社印を押印すること。

○訓練目標、訓練内容等は受講者募集案内の原稿を想定して記載すること。

○就職支援体制とは主に次のいずれかをいう。

1) 職場見学等の機会提供

2) 就職個別相談の実施

3) 地域の雇用情勢等に関する就職講話

4) 求人情報の提供

5) 履歴書・職務経歴書の書き方、面接の指導

6) 就職マッチングイベント等の情報提供

7) 公共職業安定所への受講者の誘導

(訓練修了前1か月前後に求職活動のための時間を確保することが望ましい)

8) キャリア・コンサルタントを招聘した個別相談

9) 職業紹介

(無料職業紹介又は有料職業紹介事業の許可を受けている場合に限る。)

②PC技能習得コース

○【提案書類作成上の留意点】 様式2(訓練科目・カリキュラム)記入上の注意(6~7ページ)及び様式記載例(別紙)を参照の上、記載すること。

○同一開講月に「初級」と「中級」の2コースを実施する場合は、コース内容を別にして実施すること。ただし、履歴書作成や面接練習などの就職支援に係わる学科についてはこの限りではない。

③デュアルシステムコース

○【提出書類作成上の留意点】 記入上の注意(7~8ページ)及び、様式記載例(別紙)を参照の上、記載すること。

10 委託先の選定

① 提案機関からの申請内容に基づき、「カリキュラム内容」、「施設」、「講師」、「就職支援体制」、「職場実習先」(デュアルシステムコース)等について総合的に判断する。

② 選定においては、書類審査及び実地調査を行い、障害者委託訓練委託先選定

要領に基づき、障害者委託訓練委託先機関選定審査会において審査を行い、委託先機関を選定する。

- ③ 審査に当たっては、提案機関に障害者委託訓練委託先機関選定審査会への出席を求め、提出書類の記載内容に関するヒアリングを実施する場合がある。
- ④ 提案書等に記載された事項は、委託訓練仕様書と合わせ、契約時の仕様書として扱うものとする。ただし、本業務の目的達成のために修正すべき事項がある場合には、千葉県と委託先機関との協議により契約締結段階において項目を追加、変更又は削除を行うことがある。

1.1 応募方法

①提出様式

○PC技能習得コース・早期訓練コース（座学型）

別紙 様式1．様式2．様式3-1．様式3-2．様式4．様式5．様式6．
様式7．様式8．様式9
（※委託先機関として内定後、様式6．様式7を提出）

○デュアルシステムコース

別紙 様式1-1．様式1-2．様式2．様式3-1．様式3-2．
様式4-1．様式4-2．様式5．様式6．様式7．様式8．様式9
（※委託先機関として内定後、様式6．様式7を提出）

○作業実務コース

別紙 様式1．様式2．様式3．様式4．様式5．様式6．様式8．様式9
（※委託先機関として内定後、様式6を提出）
（※訓練開始日を指定しない場合、様式4は後日提出）

○企業実践コース・早期訓練コース（企業実践型）

別紙 様式1．様式2．様式3．様式4．様式5．様式8．様式9
（※訓練開始日を指定しない場合、様式4は後日提出）

【中小企業においては下記を追加提出】

- ・中小企業申告書 ・雇用状況報告書または雇用状況申告書
- ・登記簿謄本の写し

②提案書の提出期間等

○PC技能習得・早期訓練コース座学型

（募集期間）平成29年10月31日（火）～11月30日（木）17:00まで

○作業実務・デュアルシステム・企業実践・早期訓練企業実践型）

（1次募集）平成29年10月31日（火）～11月30日（木）17:00まで

（2次募集）平成30年 5月 1日（火）～12月21日（金）まで随時募集

※提案書は持参又は郵送にて提出すること。郵送の場合は、締切日の当日消印有効とする。

※1次募集にて応募・決定した機関を訓練生募集案内に掲載する。

③提案書の提出・問い合わせ先

〒266-0014 千葉市緑区大金沢町470

千葉県立障害者高等技術専門校 相談支援課 委託訓練担当：高瀬

TEL：043-291-7744 FAX：043-291-7745

1.2 平成30年度障害者委託訓練開始までのスケジュール（予定）

平成29年10月31日（火）～11月30日（木） 1次募集期間
～12月22日（金） 提案機関視察調査
平成30年1月中旬 提案機関審査会
審査結果通知発送
平成30年 3月2日（金）平成30年度委託訓練募集開始
平成30年 4月2日（月）作業実務・企業実践コース開始
平成30年 5月1日（火）PC技能習得・デュアルシステムコース開始
平成30年10月1日（月）特別支援学校早期訓練コース開始

【提出書類作成上の留意点】PC技能習得コース

様式2 【訓練科目・カリキュラム】 記入上の注意

1 内容レベルについて

○初級とは

パソコン操作の基礎知識、ワープロ、表計算、プレゼンテーションソフトの基本操作の習得を目指す。

○中級とは以下のことができる者を対象とする。

【ワープロソフト】

- ①A4一頁程度の文章入力が、たどたどしくなく入力できる。（ひらがな、カタカナ、英数、記号、漢字変換、文字の修正など）
- ②表の入ったビジネス文書の作成ができる。また、文書に対しての文字書式、段落書式などや表内の書式設定や行列の追加、削除などができる。
- ③図・写真入りの文書が作成できる。

【表計算ソフト】

- ①簡単な表が作成できる。
- ②SUM、AVERAGE、MAX、MIN、COUNT、COUNTA、ROUND、RANK、IF、NOW、WEEKDAY、TODAYの関数が理解できて使える。
- ③表データよりグラフ作成ができる。（棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフなど）
- ④表内のデータを昇順、降順に並べ替えできる、文字やセル内の装飾ができる。

2 1月開講（訓練期間：2か月のみ）の訓練時間数について

○通常、月当たり時間数の計算はひと月当たりの時間数で計算する。

例) 5月（107時間） 6月（100時間） 7月（104時間）
→各月、100時間の標準時間数を超えている。

- ・1月開講（訓練期間：2か月のみ）コースの場合、月当たりの標準訓練時間数の設定が難しいことが考えられる。
- ・1月開講（訓練期間：2か月のみ）コースに限り、訓練期間（30日）あたりの計算とする。

例) 訓練期間 1/9～3/8の場合
→1/9～2/8（104時間）、2/9～3/8（102時間）で100時間の標準数を超えている。

3 訓練時間数の設定について

台風等の自然災害や公共交通機関の乱れ等の理由で休講する場合があることを留意し、訓練時間数の設定をすること。（標準の100時間／月程度以上が望ましい）

【提出書類作成上の留意点】デュアルシステムコース 記入上の注意

提案内容は、委託訓練カリキュラムを骨子として就職を希望する訓練生の受講が見込まれ、かつ、訓練修了後の就職を支援するカリキュラムを取り込む等就職につながる特色ある内容とするよう配慮すること。

1 訓練開始月・時間について

①訓練開始月について

「期日を定めて開始する」「応募があった段階で開始日を調整して開始する」のどちらでも可。

②訓練時間について

- ・職業能力付与講習 4日以内
- ・集合訓練（座学等） 標準100時間 下限80時間
※集合訓練については、時間数の算定は、45分以上60分未満（休憩時間を除く。）を1時間として算定して差し支えない
- ・職場実習 標準100時間 下限60時間

2 訓練について

「訓練目標」「訓練の内容」は具体的に記載すること。複数枚でも可。

①職業能力付与講習

- ・職業能力付与講習は、訓練受講の目的を明確化して就職意欲を喚起するとともに対象者の職業能力を効果的に高める内容とすること。
- ・挨拶、ソーシャルスキルトレーニング等、ビジネスマナー的な要素を含んだ講習が想定される。なお、集合訓練の内容と明確に区別出来るようにすること。

②集合訓練（座学等）

- ・提案機関の特色を生かし、就労へつながる知識・技能が習得できる内容とする。

③職場実習

- ・職場実習先企業の開拓は、委託先機関等が行うこと。なお、提案書の提出時には職場実習先企業が決定しておく必要があること。
※受講者全員の職場実習を実施する必要があること。
- ・現場実習先訓練内容は、委託先機関等における集合訓練（座学等）で習得した知識・技能の応用、定着が図れる訓練内容となるよう留意すること。

④使用教科書等

- ・訓練実施に際して使用予定テキストや、教具等の内訳とその合計金額を記入すること。

3 施設設備等

- ①パソコンを使用する訓練内容の場合は、1名につき1台以上とすること。
（インターネットが使用できること。）
- ②行事等（開講式、閉講式、就職ガイダンス等）に使用できる教室が確保できること。
- ③同一教室での集合訓練ができること。
- ④受講者の休憩室（昼食等ができる程度）が確保できること。

4 訓練指導等

- ①受講者を委託訓練と関連のない作業に従事させないこと。
- ②常時、出席状況の確認を行い、欠席等のあった場合には当該受講者に対して適切な指導を行うこと。
- ③委託訓練期間中には受講生の職業指導等にあたるとともに、訓練修了後30日後及び90日後の就職状況を修了生による就職状況報告書で把握し、修了生就職状況報告一覧により報告すること。
- ④訓練の進行を管理する諸帳簿（出席簿等）を備えること。
- ⑤この委託訓練に必要な訓練関係諸報告並びに公共職業安定所等提出書類を作成すること。
- ⑥受講者に損害賠償責任等に係る民間保険に全員加入するよう指導すること。
- ⑦訓練受講者の選考会への協力を行うこと。
- ⑧訓練受講者の中途退校に係る事務処理を行うこと。
- ⑨災害発生時（交通事故等を含む）の連絡を行うこと。
- ⑩訓練・生活支援給付金の対象者に係る事務処理を行うこと。
- ⑪その他訓練及び就職支援の実施に伴い、千葉県障害者委託訓練事務局（障害者高等技術専門校）が指示する事項についての業務を行うこと。